

よしみ 議会だより

2010
第121号
吉見町議会
5月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



緊張の一瞬 — これから始まる小学校生活 (平成22年4月8日 西が丘小学校入学式 16名入学)

3月定例議会

6月定例議会

6月8日(火)

から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 保育所を建設 … P 2 ~ 3
- 常任委員会予算審議報告 … P 4 ~ 5
- 議案審議結果 … P 6
- 一般質問に7名登壇 … P 7 ~ 10
- 視察研修報告 … P 11
- 一部事務組合報告 … P 12 ~ 13
- 議会日誌、編集後記 … P 14

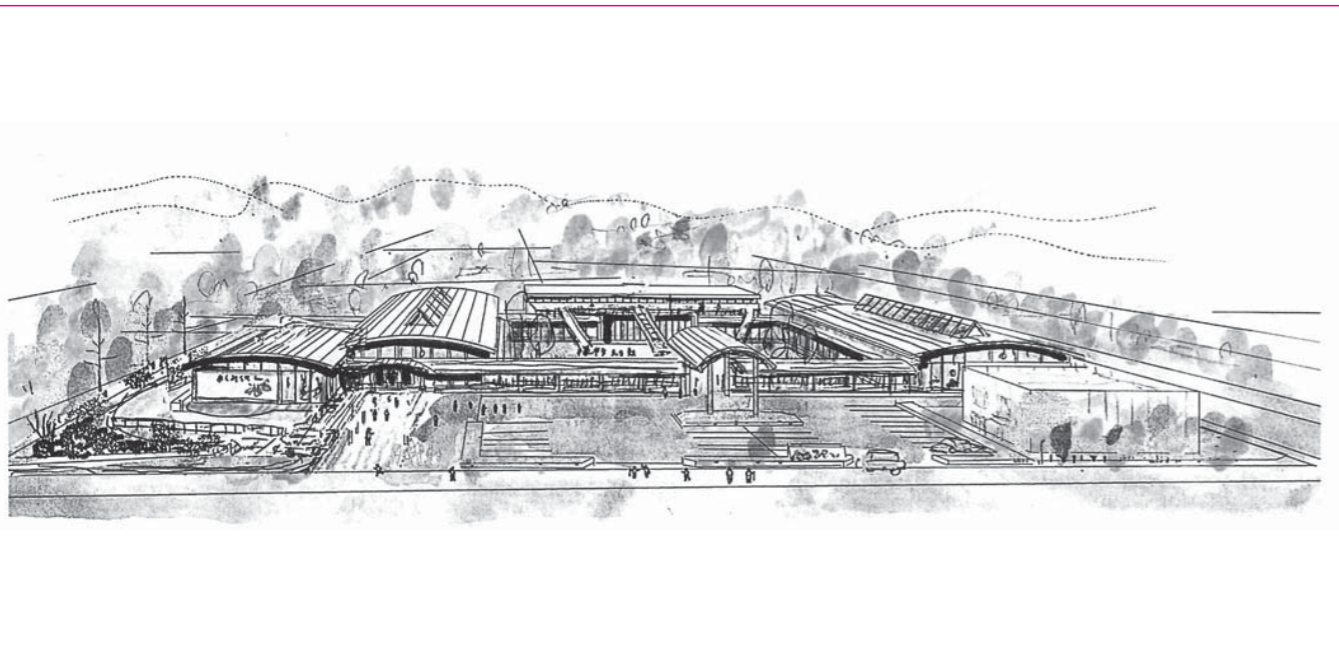
3月定例議会

— 平成22年度の各予算決まる —

「みんなで創る、みどりと笑顔があふれるまち」—

町の子どもを育てる

保育所を建設



(仮称) よしみ保育所完成予想図

3月定例議会は、3月1日から19日までの19日間の会期で行なわれました。今定例議会では、平成22年度一般会計をはじめ各会計予算、平成21年度一般会計補正予算、条例の改正、議員提出議案など21議案の審議が行なわれ、すべて可決されました。一般質問については、7名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

予算の総額 109億3,451万6千円

○一般会計予算	57億9,000万円
○特別会計予算(7会計)	42億8,633万6千円
・国民健康保険	21億 519万円
・後期高齢者医療	1億2,980万円
・老人保健	107万円
・介護保険	10億7,466万7千円
・百穴管理	1,632万円
・下水道事業	4億7,895万4千円
・農業集落排水事業	4億8,033万5千円
○企業会計予算(水道事業会計)	8億5,818万円

主な議案の内容

■平成22年度吉見町一般会計予算

平成22年度一般会計予算は、吉見町の将来像である「みんなで創る、みどりと笑顔があふれるまち」の実現に向け、人づくりの推進、安全で安心なまちづくり、社会保障への対応、少子・高齢化社会への対応、生活基盤の整備など各種施策を効率的、計画的に進めてまいります。

●主な事業

<p>地域に活力 ～みんなで創る、にぎやかなまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○川幅日本一地域元気アップ事業(川幅日本一を活かした地域おこし活動) ○水辺再生事業(八丁湖の整備工事) ○県営事業(大申ほ場整備、吉見領たん水防除) ○農業集落排水事業(東第二地区の整備推進)
<p>地域に文化 ～みんなで創る、まなびのまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校整備工事(雨漏り修繕、廊下壁面塗装工事) ○東第二小学校整備工事(多目的室の床改修) ○松山城跡史跡整備事業(説明板と標柱の設置) ○中学生海外研修派遣
<p>地域に笑顔 ～みんなで創る、やさしいまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども手当支給事業(中学校修了まで) ○子ども医療費助成事業の充実(通院分の対象年齢を中学校修了まで引き上げ) ○新保育所建設事業(平成22年度、23年度事業) ○地域活動支援センター事業(地域活動支援センターを開設し、障害福祉の増進)
<p>地域に安心 ～みんなで創る、あんぜんなまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県営農道保全対策事業(広域農道の橋梁補強と道路改修) ○交通安全施設の充実(道路照明灯、カーブミラー、区画線等の設置) ○自主防災組織の育成(地域ぐるみの防災体制の確立) ○生活道路等の整備

■吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 主な改正事項—
- 特に長い時間外勤務を命ぜられた職員に休息の機会を与えるため、時間外勤務手当の支給割合の引き上げ分の支給に代えて、時間外勤務代休時間の指定を可能とするものです。
 - 特に長い時間外勤務を抑制するため、時間外勤務手当の支給割合の引き上げをするものです。

■吉見町重度心身障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例

- 主な改正事項—
- 障害者福祉の増進を図るため、福祉手当の支給対象者に新たに重度の精神障害者等を加えるものです。

■吉見町こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

- 通院分の対象年齢を中学校修了まで引き上げをするものです。

■平成21年度吉見町一般会計補正予算(第5号)

既定の予算額に歳入歳出それぞれ4,833万3千円

を追加し、予算の総額を59億4,513万6千円とするものです。

—主な歳入として—

- 町税の法人町民税 △2,050万円
- 町税の固定資産税 △2,090万円
- 子ども手当準備事業費補助金 441万5千円
- 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 6,760万6千円
- 地域子育て創生事業費補助金 230万8千円
- 埼玉県全国瞬時警報システム整備促進事業交付金 942万円

などがあります。

—主な歳出として—

- 扶助費・障害者自立支援給付費 2,279万6千円
 - 子ども手当システム改修委託料 441万5千円
 - 子育て支援センター建設工事 3,340万円
 - 水路整備工事、水路改修工事、農道整備工事 1,900万円
 - 側溝整備工事、舗装修繕工事 1,160万円
 - 全国瞬時警報システム整備工事 942万円
 - 南小学校・北小学校水道管改修工事 493万2千円
 - 南公民館屋根等改修工事 410万円
- などがあります。

一般会計予算57億9,000万円

前年度比2億4千万円増
増の要因は子ども手当の創設

総務建設常任委員会
宮崎 雄一 委員長

前年度比町税 1億902万7千円の減

平成22年度予算編成は、20年秋以降の不況の影響を受け厳しさを増す財政環境のもと、政権交代に伴う政策転換や税制改正などの不確定な部分が多く、町税についても減収が見込まれ、財源を見積る上で困難な状況にあり町税では法人税、固定資産税については、企業の倒産や撤退などの影響を見込み、町税全体で24億7,645万6千円で、依存財源を含めた22年度一般会計予算は57億9千万円です。予算編成は前年度同様の枠配分方式により編成されており、また総合振興計画に基づく実施計画書による要求事業については、全体像を捉え緊急性や重要性、必要性などの優先順位により予算付けがなされております。

行政バスの円滑な運行

行政バスの運行については、使用人数に応じたバスの確保、町の信用を損なうことのない指導を受けた運転手の派遣等を契約に盛り込み、改善点を把握するために随行者が気づいた点、感じた点等について報告書への記載を求め、対応すべき事柄については直ちに業者へ指導する。

「有料広告の新たな広告媒体の検討は」。自主財源の確保が重点項目になっておりますので各課と協議の上、検討してまいります。

国勢調査の調査員依頼は、報酬は

調査員は区長推薦であります。報酬は前回の実績を基に同額で算定、今回は調査員の負担軽減を図るため、調査票の郵送提出方式の導入が予定されています。

川幅日本一地域元気アップ実行委員会は

県、鴻巣市、町及び同市町商工会との連携により、川幅日本一地域元気アップ実行委員会を立ち上げ川幅日本一を町のPR材料の一つとして、共同で観光PRを展開していきたいと考えています。

国の戸別所得モデル対策

「水田利活用自給力向上事業の対象作物は」。その他作物の対象作物及び交付単価は、県内一律で設定し県と国の協議で決定され、県内の作物は概ね網羅される予定です。販売農家への支援であるため、販売実績のある作物が対象となります。今後説明会等を通じて内容の周知に努めてまいります。

供用区域の接続促進をどのような計画で

供用区域の接続率の目標を掲げ、戸別訪問によりチラシ等を活用し接続促進を実施しております。

「公共下水道の推進にあたっては、アンケートなどを参考にし区域の検討を行なっているのか」。市街化区域の整備を中心と考えますが、ため池が多く存在する西部地区においては、下流域対策として整備を進めております。

農業集落排水事業では、東第二地区工事費等2億7,900万円、維持管理費6,544万9千円などがあります。

新ひばりヶ丘配水場用地購入費計上

水道事業会計では、石綿管布設替工事に1億4,900万円、また新ひばりヶ丘配水場建設に伴う用地購入費1,040万円を計上しています。

活潑な質疑応答、積極的な要望、提言を行ない、本委員会に付託された議案について慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

保育所建設予算化

教育福祉常任委員会
柳谷 泉 委員長

住民窓口で本人通知制度導入

この制度は、事前登録者に対して、第三者請求により住民票の写し等が取得された場合に、本人宛に交付の事実をお知らせする制度です。

子ども医療費通院を中学校修了まで拡大

今まで、小学校修了までを中学校修了まで支給対象を拡大による予算額は4,500万円で、そのうち影響額は670万円を見込んでいます。

保育所建設にあたり1園に統合

1園に統合することにより、合理化が図られることが期待され、環境の面でも太陽光発電を取り入れていくとのことです。

また、内容の充実として延長保育、低年齢児保育、一時保育など利用者の視点に立った保育サービスの充実を図っていくとのことです。

学びと絆を深める人づくり

吉見町独自の学習として「いちご学習」を進めておりますが、家庭学習の充実を更に図るため、いちご学習ノートを全小学生に1人3冊で、各学期初めに配布し、より一層意識づけを図っていくとのことです。

教育先進地から講師を

秋田県で教壇に立っている実践的指導者を招き、町内の先生を中心に夏休みの期間中講演を予定しているとのことです。

全国学力テスト

3年前より全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国的な状況と各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒の教育指導や学習状況の改善に役立てるために、全国一斉に同じ問題を実施するものであります。平成22年度に関しては、30%の抽出であり、希望をすれば、無料で問題用紙が配布されるとのことです。

学校給食吉見産の米粉使用で地産地消

埼玉県学校給食会が吉見町で生産された米粉を使い、小中学校の児童・生徒に米粉パンを提供することになったとのことです。平成21年度、吉見町では米粉パンを学期に1度献立に取り入れていますが、コッペパンより米粉パンの価格が高い状況ですが、今後原料が吉見産米を使用した米粉パンでありますので、献立費用を検討し、使用回数を増やしていきたいとのことです。地産地消の観点からできるだけ取り入れるよう要望いたしました。

後期高齢者医療保険料減額

埼玉県後期高齢者医療広域連合において2年ごとに見直しを行なうことになっており、平成22年度・23年度の保険料率は、所得割7.96%から7.75%に、均等割額、4万2,530円から、4万300円にそれぞれ引き下げられました。

活潑な質疑応答、積極的な要望、提言を行ない、本委員会に付託された議案について慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	吉見町重度心身障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	吉見町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	道の駅いちごの里よしみの指定管理者の指定について	原案可決
議案第5号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第6号	町道路線の認定について	原案可決
議案第7号	平成21年度吉見町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第8号	平成21年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第9号	平成21年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第10号	平成21年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第11号	平成22年度吉見町一般会計予算	原案可決
議案第12号	平成22年度吉見町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第13号	平成22年度吉見町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第14号	平成22年度吉見町老人保健特別会計予算	原案可決
議案第15号	平成22年度吉見町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第16号	平成22年度吉見町百穴管理特別会計予算	原案可決
議案第17号	平成22年度吉見町下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第18号	平成22年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第19号	平成22年度吉見町水道事業会計予算	原案可決
議案第20号	平成21年度吉見町一般会計補正予算（第6号）	原案可決

議員提出議案

発議番号	件名	審議結果
発議第1号	政治資金規正法の制裁強化を求める意見書（案）の提出について	原案可決

発議について

議員提出議案として、意見書提出について審議が行なわれ、可決し、関係機関に送付しました。

■ 発議

○政治資金規正法の制裁強化を求める意見書

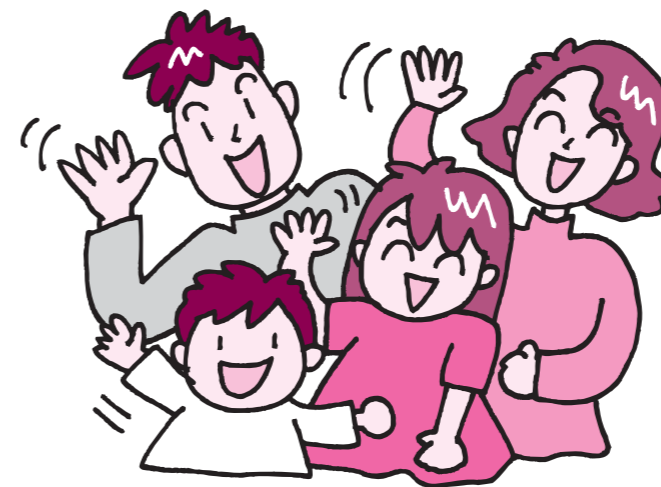
【意見書抜粋】：現行法では、国会議員など政治団体の代表者が「会計責任者の選任及び監督」について「相当の注意を怠ったときは、50万円以下の罰金に処する」と規定されているが、実際に会計責任者が収支報告書の虚偽記載などの不正を犯した場合、その人を会計責任者に選ぶ段階で「相当の注意を怠った」と立証するのは困難であり、実効性に欠けると言わざるを得ない。

従って、会計責任者の「選任及び監督」を「選任又は監督」に変更し、政治団体の代表者が会計責任者の監督についてだけでも「相当の注意」を怠れば、罰金刑を科せられる仕組みに改めるべきである。

政府におかれては、より一層の制裁強化を図るため、秘書などの会計責任者が違法行為を犯した場合に、監督責任のある国会議員の公民権（選挙権や被選挙権）を停止する政治資金規正法改正案の今国会での成立を強く要望する。

意見書提出先＝衆議院議長、参議院議長、総理大臣、総務大臣

町政に対する
一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

安全で快適な道路状況について

神田 隆 議員

問 道路の改善が進まず生活に不便を感じる地域があります。安全で快適な道路体系が進められ豊かな生活を送ることができる、道路計画についてお聞きします。

答 地域の活性化を図る中で、道路網の整備や道路の改善は、重要なものと考えています。町では1、2級幹線道路は、町の産業経済の発展に重要な路線として、計画的に改修工事を進めております。集落内道路の整備につきましては、地元区長さんからの要望に基づき、重要性、緊急性など考慮し事業を実施しております。

問 防護柵の老朽化が、見受けられます。また、標識などが、色あせて、安全性に欠ける標識も見受けられます。管理状況についてお聞きします。

答 防護柵及び安全施設の設置や管理につきましては、交通安全や歩行者の転落防止を図る目的で設置に取り組んでおります。また、規制標識いわゆる、「止まれ」や速度規制標識の警察の取り締まりの対

象となる標識については、随時東松山警察署交通課に連絡し改善をお願いしております。規制標識と同様に、薄くなった路面標示についてもお願いしております。



路面表示のある道路

問 道路の舗装のひび割れ、また強度的に心配されるような橋梁もあります。設計基準に伴う維持管理についてお聞きします。

答 担当職員が通常業務等で町道を通行した際に、目視により判断するとともに、その道路の交通量等を考慮し実施しております。実施にあたっては、基準に基づき施工しております。

吉見町の環境整備の問題点は

尾崎 豊 議員

問 吉見町の環境を整備することは大切な取り組みです。吉見町の百穴には様々な歴史がありますが、昭和の歴史で軍需工場の跡地が残されています。現状と今後の調査活用については。

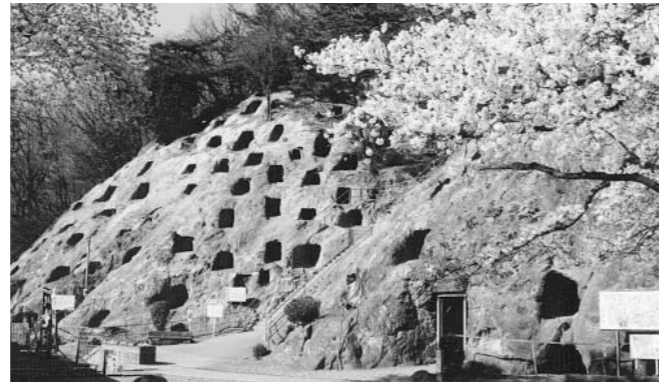
答 地下軍需工場は当時空襲を避けながら航空機の部品を製造する目的で造られたもので直径3mほどの大きさの洞窟状通路が、縦と横で交差しながら基盤のマス目状になっているのが特徴となっています。今後、どのような調査が必要で、またどのような活用が可能なのか、安全面を含めて百穴を管理している担当課と検討をしていきたいと考えています。

問 周辺部の整備と埴輪ロードの設置について。

答 周辺部の整備に関しては、用地の関係もあり今後調査する必要があります。現状では、埴輪を生かした百穴の地域づくりを進めていますが、埴輪ロードについては、検討していきます。

問 百穴の地域への開放について、減免の実施を。

答 現行の観覧料の減免の基準にあわせ実施します。



春の吉見百穴

問 地域活性化の方策として、自然を活かした観光施設を造ることは大切な取り組みです。吉見町でも多くの自然が残されており、この自然を活かした施設等の検討について。

答 史跡が多く自然に恵まれ、緑豊かな景観に恵まれています。今後においても自然と景観緑地の保全、現在ある施設の活用に努めていきます。

問 吉見町には、吉見八景と称される風景、また今回12選が選出されましたが、吉見町でも吉見八景、吉見12選等を描く会の実施については。

答 吉見町コミュニティづくり推進協議会に報告し、検討します。

環境を整えることを目的に、恒常的に生産に要する費用が、販売価格を上まわる米に対して所得補償をするものであります。

問 モデル事業対象の要件と具体的な取り組み内容は。

答 米の生産調整を達成された農家で水稲共済の加入者、または前年度出荷販売実績のある農家が対象。6月末までに国に加入申請が必要。水田面積の約60%に主食用水稲の作付をお願いする予定です。

問 水田利活用自給力向上事業の概要は。

答 自給率向上を図るため、麦・大豆・新規需要米等を生産する農家の皆様へ助成するもので、生産調整未達成の農家も助成の対象となっております。

問 平成22年度町単独助成はどうなるのか。

答 水田農業推進協議会の一員として関係機関との連携を図り、米の生産調整達成に向け鋭意努めるとともに、おおむね今年度と同様の支援を考えております。

問 改正農地法による農地制度の改正点は。

答 農地の貸借については、農業生産法人以外の法人も借りることができるようになりました。また、標準小作料制度に代わり、目安となる情報提供を農業委員会がすることになります。また、遊休農地の所有者に対し、有効利用を図るための指導、通知、勧告まで農業委員会ができるようになりました。

戸別所得補償モデル事業の目的と概要は

荻野 勇 議員

問 平成22年度戸別所得補償制度モデル事業の目的と概要は。

答 国は10年後に食料自給率を50%に引き上げる目標の実現に向け、水田を有効活用することが重要であることから、これを推進する手法として「戸別所得補償制度」を導入、意欲ある農家が水田農業を継続できる



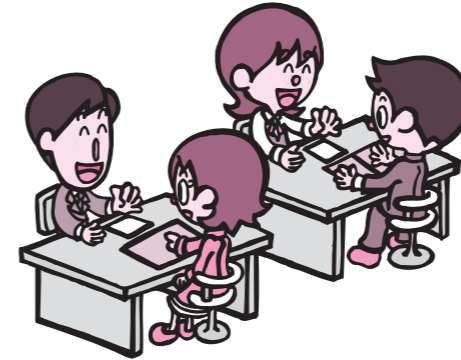
町の水田

町民ニーズにこたえる財政を

公明党 長島 茂 議員

問 町の予算、財政状況は厳しいが、問題ないと公表しています。この先サービスの低下、税金等の負担増、納めた税金は有効に使われているのか、との心配や懸念があります。そこで、福祉など特定の施策の使用目的として積み立てる「特定目的基金」、やりくり用の「財政調整基金」、借金返済用の「減債基金」の金額はいくらありますか。

答 平成21年度末の見込みで、総額9億2,931万9,264円です。



安心できる介護等について

公明党 安孫子和子 議員

2025年には、65歳以上の高齢者人口は3,600万人(高齢化率30%)を突破すると予想されていることから、公明党は全国で介護の総点検運動を実施し、10万件を超える回答をいただきました。その結果、「介護施設の不足」「在宅介護支援体制の不足」「介護労働力の不足」に対する不安の声が数多く寄せられました。町においても4年後には、高齢化率24.7%となる見込みで、4人に1人が高齢者となることから町の実態等をお伺いたします。

問 特別養護老人ホームの待機者数及び待機者解消に向けての計画について。

答 待機者は65人(うちすぐ入所希望33人)で、待機者解消については、町内の特別養護老人ホームが平成23年度に30床を増床予定しているほか療養型病床が老人保健施設に転換し、増床予定なので解消につながるものと期待しています。

問 地域で暮らせる環境拡大のため「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせた小規模多機能型居宅介護

問 法律上収支計画、財政運営計画の作成義務はないが、住民に開示するなどの考え方、取り組みについて。

答 毎年予算編成前に翌年度以降の中期財政見直しを行ない、歳入に見合った歳出を目指し予算編成に当たっています。今のところ開示の考えはありません。

問 将来負担額とは一般会計の地方債現在高をはじめ7項目の合計額ですが、この将来負担比率の推移の予想と抑制減少への方策の考えについて。

答 緩やかではありますが、増加傾向が見られます。一般会計の財政の硬直化に影響を及ぼさないよう抑制の検討をしております。

問 通称流川耕地のほ場整備事業と一体で取り組み中の県道バイパスに沿って造られている南側と北側の農道の整備計画と進捗状況について。

答 開通に合わせて北側は県が、南側は町が施工して整備を進めてまいります。

問 現在の県道から新たな県道バイパスへの侵入道路への取り組みは。

答 進入道路の詳細設計、用地買収等の作業を予定しています。今後、バイパスの開通に合わせて取り組んでいきます。

施設の設置推進と今後必要なサービスについて。

答 施設の具体的整備計画はありませんが、今後の需要の動向を注視する必要があると考えます。今後必要なサービスとして、認知症の人を地域で支えるサービスが必要と思われ、平成21年度から悠友館で、認知症サポーター養成講座を開始しました。



問 住宅改修費の受領委任払いについて。

答 一時的負担軽減も考慮しつつ、慎重に対応してまいります。

この他にも女性特有のがん検診推進や子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成、NIE(新聞を生きた教材として教育に活用)についても質問しました。

安全安心の町づくりのために

日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 昨年12月に東野地内で交通死亡事故が発生した。現場は町道であり、住宅やアパートも密集し、通学路にもなっているが、事故後3か月が経過をしている中、何の対策もとられていない。「安全安心の町づくり」を推進する町であるならば、早急に改善策を講じるべきではないか。

答 12月21日に東松山警察署交通課と町の担当職員で道路診断を行ない、再発防止に向け協議を行なった。

交通事故の主な原因は、運転手のスピードの出しすぎと前方不注意であったため、新年度予算で路面表示と道路照明灯の予算を計上している。

問 スピードの出しすぎが原因としてあるならば、現状をみただけで、速度規制が必要ではないか。

答 以前にも速度規制について警察とも協議したことがあるが、一級幹線道路のため規制することは難しいのではということで今までできていた。

問 昨年12月に行なわれた「吉見町安全・安心まち



交通安全街頭キャンペーンの様子

づくり大会」の防災講演会では「吉見町役場が今後30年以内に震度5弱以上の揺れに見舞われる確率は99.9%である」と予測されているということだった。

今、深刻な経済不況が続いているが、地元の中小業者への仕事起こしとしても、個人住宅への耐震診断、補強工事への助成制度の創設を求めたい。

答 町の統計をみると住宅の耐震化率は年々上昇しているが、制度の創設が大きな効果を上げるものであるか、近隣で実施している所の調査をしたい。

この他、全国学力テストについて、学校給食申込書についても質問を行ないました。

環境が整っていると考えます。年数がかかり、多くの理解、協力をいただかなければできない仕事だが、良い環境をつくることは町にとって重要なことだと考えます。できることは、積極的に進めていきます。



荒川流域

東松山鴻巣線の開通について 財政問題、環境問題について

内野 正美 議員

問 県道東松山鴻巣線の開通は、平成23年3月に開通の予定だがそれにあたって周辺の整備はどう進めますか。

答 県道バイパスの整備に合わせ、順次進めていきます。交通安全施設である信号機の新たな設置も要望しています。

問 公用車両を一括管理する考えはないのか伺います。

答 行政改革大綱での公用車5台の削減を可能としました。

今後は、この取り組みをさらに進め、一括管理も選択肢の一つとして公用車の管理のあり方について調査研究を行ない、より多くの財政効果を挙げられるよう努めていきます。

問 国土交通省、埼玉県が進めているコウノトリ、トキを指標とした環境保全などの検討について、どのように取り組んでいくのか伺います。

答 南関東地域におけるコウノトリ、トキの野生復帰の検討が行なわれています。荒川流域では吉見町が、

視察研修報告

議会運営委員会

岩崎 勤 委員長

予算及び決算の審議の方法等を視察

〔視察日〕 平成22年2月3日(水)
〔視察先〕 茨城県猿島郡五霞町議会

〔視察日〕 平成22年2月4日(木)
〔視察先〕 茨城県東茨城郡大洗町議会

町民に開かれた議会等、町議会の活性化を検討するため、予算及び決算の審議の方法、全員協議会の運営、議会開会前の町民への情報提供について視察研修を実施いたしました。予算及び決算審議を特別委員会を設置し審議しております五霞町議会と本町議会と同様に常任委員会で審議しております大洗町議会を訪問いたしました。

全議員が全行政分野を把握(五霞町議会)

五霞町は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西南端に位置し人口9,576人、平成21年度一般会計当初予算は35億円、議会の概要については、平成22年2月1日現在議員数10人、議会構成は、総務文教委員会5人、経済建設委員会5人の2委員会、議会運営委員会5人及び3つの特別委員会であります。予算、決算特別委員会設置理由については、議員18名の3委員会の時はそれぞれ委員会付託で審議し、審議日数は1委員会が1日、特別委員会になってからは3日間審査、全議員が全行政分野を把握することによって全員参加での議論ができるようになり審議内容が良くなってきた、とのことでした。また、本会議での委員長報告に対する質疑は、特別委員会においてすでに出ており特別なもの以外は基本的には討論方式となる、とのことでした。次に定例で毎月開催している全員協議会の内容については、各課からの報告事項、会期日程、提出議案等の説明、また町民への情報提供は、年4回発行の議会だよりに次回定例会開会予定及び一般質問の日時等について掲載しお知らせする、とのことでした。



五霞町役場前にて

開かれた、信頼される議会をめざして(大洗町議会)

大洗町は、茨城県の太平洋岸のほぼ中央、人口18,338人、平成21年度一般会計当初予算は、71億1,057万円、議員数は15人、総務常任委員会5人、文教厚生常任委員会5人、建設経済常任委員会5人の3委員会、議会運営委員会7人及び議会広報編集委員会8人で構成されております。

予算、決算審議については吉見町議会と同じで全員協議会は随時開催され、町執行部からの報告事項等であります。議会開催前の町民への情報提供は、議会日程、一般質問する議員名と発言内容等を記載したポスターを作成し、公共施設や事業所等、70か所に対し貼り出し、また回覧板等も活用しております。議会に関心を高める改革の一つとして3月、9月定例議会後に町内9か所の集会所において議会報告会を議員5人ずつ3班に分けて実施している、とのことでした。

予算、決算の審議の方法、一般質問、情報提供など議会活性化のため、地域性の中で特色ある取り組みをされておりました。



大洗町議会視察研修の様子

一部事務組合報告

北本地区衛生組合議会定例会 杉田しのぶ 議員

期日 平成22年2月17日 午前9時45分から
場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から岩崎勤議員、安孫子和子議員、杉田しのぶの3名が出席いたしました。

○議案第1号・2号・3号は専決処分の承認を求めることについて

人事院勧告に伴って第1号・2号議案では、議員・正副管理者の期末手当の引き下げを行なったものです。3号議案については職員（若年層の一部を除く）の給料月額減額が行なわれ、平成21年4月から11月分の給料支給済分については、12月の賞与で差引きし、期末勤勉手当も0.35月引き下げるといいうものでした。

○議案第4号から6号について

菖蒲町の合併に伴って条例上の名称変更を行なうために提案された条例改正でした。

○議案第7号 平成21年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算（第2号）

議員の期末手当の減額と職員の給料、期末手当の減額、特別職の期末手当の減額が主なもので、減額した312万6千円は財政調整基金に積み立てをいたしました。（残高は3,649万7千円）

○議案第8号 平成22年度北本地区衛生組合歳入歳出予算

平成22年度の予算はし尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥の量を年間27,500kl余（前年度比1,000kl減）を処理する目標で編成されたものです。予算総額は3億5,502万8千円（前年度比8,629万3千円、19.55%減）で、減額の主な理由は平成6年度事業までの起債償還が終了したことによる減額であります。

上程された議案第1号から8号は、すべて原案のとおり承認、可決されました。

埼玉中部環境保全組合議会定例会 小柳幸一郎 議員

期日 平成22年2月19日 午前9時から
場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から内野正美議員、荻野勇議員、神田隆議員、小柳幸一郎の4名が出席いたしました。

平成21年4月から本年1月末までに搬入されました、管内発生ごみ量は、可燃ごみと粗大ごみ合わせて32,632.18トンであり、前年同期と比較して1,253.22トン3.7%の減であります。施設の運転管理につきましては、良好な運転管理業務を継続しており、定期点検整備等各種点検整備保守点検作業等も順調に進んでおるとのことです。

付議された議案

○議案第1号 専決処分の承認を求めることについて

○議案第2号 専決処分の承認を求めることについて

○議案第3号 埼玉中部環境保全組合特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

○議案第4号 平成21年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算（第2号）について

○議案第5号 平成22年度埼玉中部環境保全組合一般会計予算について

次に、発議第1号埼玉中部環境保全組合議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の提出につきましては、提出者小柳幸一郎、賛成者岡田恒雄議員、長嶋貞造議員、現王園考昭議員、福島忠夫議員、荻野勇議員により、提出しております。内容は、組合議員の月額報酬の引き下げ改定などです。

以上、上程されました6議案とも慎重審議のうえ、原案のとおり承認、可決されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会 尾崎 豊 議員

期日 平成22年2月22日 午前10時から
場所 東松山市議会議場

吉見町から小林周三議長、尾崎豊の2名が出席いたしました。管理者より上程されました議案は14議案です。

○議案第1号 東松山斎場の取得並びに管理運営に要する費用の負担について等の一部を改正することについて

○議案第2号 比企広域市町村圏組合公告式条例等の一部を改正する条例制定について

○議案第3号 比企広域市町村圏組合斎場の設置及び管理運営に関する条例の一部を改定する条例制定について

○議案第4号 比企広域市町村圏組合霊きゅう自動車使用料条例の一部を改正する条例制定について

○議案第5号 比企広域市町村圏組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について

○議案第6号 比企広域市町村圏組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

○議案第7号 比企広域市町村圏組合火災予防条例の一部を改正する条例制定について

○議案第8号 比企ふるさと市町村圏計画審議会条例等を廃止する条例制定について

○議案第9号 平成21年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算（第1号）について

○議案第10号 平成21年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計補正予算（第2号）について

○議案第11号 平成22年度比企広域市町村圏組合一般会計予算について

○議案第12号 平成22年度比企広域市町村圏組合消防特別会計予算について

○議案第13号 平成22年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計予算について

○議案第14号 平成22年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計予算について

以上、上程されました議案につきましては慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

町議会を傍聴してみませんか

次の議会は

6月定例議会

6月8日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493 (63) 5024



議 会 日 誌

月 日	件 名
H21.12. 9	第19回吉見町クラブ対抗ゴルフ大会表彰式
13	4団体合同交流会
17	議会だより編集委員会
17	平成21年度吉見町安全・安心まちづくり大会
H22. 1. 4	吉見町役場「仕事始めの式」
7	議会だより編集委員会
9	平成22年埼玉県消防協会比企支部消防出初め式
9	平成22年吉見消防団役員新年顔合わせ会
10	平成22年吉見町成人式
10	建設埼玉吉見支部新年会
13	平成22年県と市議会議長会・町村議会議長会との新年懇談会
13	比企郡町村議会議長会役員会及び新年会
14	吉見町商工会「新春講演会・賀詞交歓会」

月 日	件 名
1.15	議会だより編集委員会
21	吉見町老人クラブ連合会新年会
23	平成22年吉見消防団OB会懇親会
25	荒川右岸堤防補強工事の要望活動
29	教育委員会・学校管理職合同新年会
30	長澤祥一氏の叙勲受章を祝う会
2. 1	平成21年度比企郡町村議会議員研修会
3・4	議会運営委員会視察研修
5	吉見町PTA連絡協議会懇親会
10	埼玉県町村議会議長会「正副議長及び事務局長合同研修会」
13	吉見町母子愛育会設立50周年記念式典
15	比企広域市町村圏組合議会組合市町村選出議員代表者会議
16・17	議会だより編集委員会視察研修
21	第16回久保田賀美文化祭
22	比企広域市町村圏組合議会定例会
23	議会運営委員会

編 集 後 記

新緑が目にもまぶしい季節となりました。

景気低迷が長期化し、政治、経済、社会生活、雇用状況等が益々厳しくなっていく中、平成22年度予算審議も無事可決しました。厳しい予算ではありますが、少しでも皆様の要望にこたえるべく努力してまいりたいと思っております。私たちは、皆様に興味を持って読んでいただける誌面づくりを心掛け、議会だよりの発行に努めてまいります。

また、吉見町議会では、政務調査費の支給は受けておりませんが、議員活動に努めております。

町民の皆様には、議会の傍聴及びご意見を賜りますようお願い申し上げます。

議会だより編集委員会

委員長 内野正美
副委員長 尾崎豊
委員 小林周三
委員 小柳幸一郎
委員 宮崎雄一
委員 神田隆